館長だより

山形県産業科学館

令和７年５月１８日(日)

発行 館長　加 藤 智 一

トリコデルマ菌

がっちりマンデー　「シュレッダーの紙の土はこれ!?大石物産の「実のなる野菜の土」(2025.5.11 放送)。2025 年 5 月 11 日の「がっちりマンデー」は園芸ビジネス特集でした。ここで紹介されたのが、驚きの技術。土の話。シュレッダー古紙が原料になっていると言うではありませんか。紙で野菜が育つのか？これは、福岡の大石物産が手掛ける「実のなる野菜の土」という商品。なんとシュレッダー紙と「トリコデルマ菌 911 株」という微生物を組み合わせた培養土なのです。現在は、九州や沖縄県のホームセンターなど、一部でしか販売されていないのだそうですが、店頭価格は 20 リットルで 500～600 円程度とのこと。きくところによると、九州大学のとある先生が、シュレッダーダストの処理に困って、大学構内に穴を掘って埋めたところ、しばらく経って掘り返してみたら、紙が無くなっていた!!　何で？これは土中の微生物が関係していたに違いない、と研究が始まったのだとか。この時たどり着いた一つの答えが、「トリコデルマ菌」だったという訳です。

このころすでに、毎年同じ場所で同じ作物を栽培することで悪玉菌の影響により発生する連作障害の対策として、トリコデルマ菌を利用した土壌改良材は販売されていましたが、価格が高く、温度や湿度管理など、取り扱いが難しかった。そこで、九州大学で発見された「トリコデルマ菌 911 株」に着目し、

これまで再生紙として利用が難しくリサイクルが進んでいなかったシュレッダー古紙を栄養源に、浄水場で発生する浄水ケーキに「トリコデルマ 911 菌」を付与・固定し、規格外園芸用軽石を混ぜて土壌改良資材（土壌サプリメント）を開発したということです。栽培実験では、通気性がアップし菌数も増量、保存性も向上し、土壌病害の抑止効果、苗の生育、作物の収量増大効果も確認され、良いことだらけ。全国販売されたら（通販はしている)、全国のオフィスで、意外と処分に困っているシュレッダーダストの有効利用に道がつき、日本の園芸界はますます面白く進化するのではないでしょうか。

今更きけない　年金「第３号被保険者制度」

1985 年にできた制度で、配偶者が会社員などの２号被保険者で自らの年収が 130 万円未満なら、３号として国民年金の保険料を支払わなくても老後に基礎年金を受けられるという制度です。３号の保険料は、会社員ら２号被保険者全体で負担しています。対象者 675 万人（2024 年 5 月）のうち、98 ％ が女性。夫婦共働きの増加に加え、パートなど短時間労働者にも厚生年金の適用を進めていることもあり、1995 年度の 1220 万人をピークに減少しています。

今日は何の日　国際博物館の日

1977 年（昭和 52 年）に国際博物館会議の第 11 回大会で「国際博物館の日」が制定され、翌 1978 年（昭和 53 年）から実施されました。第 11 回大会は 5 月 18 日から 29 日まで開催されたことから、5 月 18 日が「国際博物館の日」となりました。日本では公益財団法人・日本博物館協会を主体として 2002 年（平成 14 年）から参加しています。制定の目的は、博物館の存在を広く市民にアピールすること。ここで言う博物館とは、博物館のほか美術館・科学館・動植物園・水族館なども含むものです。年ごとに世界共通のテーマが定められ、各国の博物館・美術館などでさまざまなイベントが開催されています。

ちなみに、山形県立博物館では、「君も探究者！クイズ de はくぶつかん探検」と「縄文の女神」展示説明会を開催します。また山形大学ナスカ研究推進センターでは、「テクノロジーが解き明かす古代ナスカ社会」を開催します。残念ながら当館は通常営業。